

第2号

会報 **めいおんの会**

発行 平成23年10月15日

「めいおんの会」(名音大出身名古屋市教員の会)

事務局 名古屋市緑区大清水四丁目522

TEL・FAX (052) 877-1243

発行責任者 会長 百合草 薫

## 「めいおんの会」に寄せて

参与 高橋 肇 (名古屋音楽大学長)

2009年8月30日に「めいおんの会」が設立されました。名古屋音楽短期大学並びに名古屋音楽大学の卒業生という「同窓」であり、かつ、名古屋市立の教職にあずかる「同職」である方々が集う会としての「めいおんの会」は、百合草会長をはじめとする役員の方々のご尽力によって、3年目を迎えることができました。深く感謝いたしますと同時に、こうした「めいおん同窓」の輪の広がりを心より嬉しく思います。

1965年に名古屋音楽短期大学を開学してから46年、名古屋音楽大学開学から35年が経ちました。中部日本で最も伝統ある音楽大学として、本学はこれまでに数多くの同窓を輩出して参りました。これまで本学を支えてくださったすべての皆様に改めて感謝いたします。

さて、昨年来、同朋学園3大学の統合問題でご心配をおかけしました。すでにご承知とは存じますが、同朋学園は3大学の統合を中止いたしました。名古屋音楽大学の名称は存続いたします。今後も名古屋音楽大学として、さらなる力強い発展を期したいと存じます。名古屋音楽大学の今後の力強い発展のためには、この地域における音楽教育と音楽文化の発展と拡がり不可欠です。その意味で、日々、教育現場でご尽力され、地域における音楽教育と音楽文化の発展に貢献されている「めいおんの会」の皆様に対しましては、心より敬意を表しますと同時に、深く感謝いたします。名古屋音楽大学、「めいおん」は、中部日本のセンタープレイヤーとして、今後とも確固たる存在感のある音楽大学で在り続けたいと思います。そのためにも、「めいおんの会」の皆様をはじめ「めいおん同窓」の皆様からのこれまで以上のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

「めいおん同窓」の輪がさらにさらに力強く発展するよう、大学としても精一杯のご協力をいたしたいと思えます。「同窓だからこそ言い合えることがある」——ぜひとも大学に対して忌憚のないご意見を賜ればと存じます。皆様からのお力添えで「めいおん」を、そして「めいおん同窓」をさらに育てていただきたいと存じます。

「めいおんの会」のますますの発展と「めいおん同窓」の輪のますますの広がりを願いますとともに、「めいおん」＝「名古屋音楽大学」の力強い発展をお約束して、会報に寄せる言葉とさせていただきます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

【平成23年度役員・参与・顧問】（敬称略） よろしく申し上げます

|     |                  |      |            |
|-----|------------------|------|------------|
| 会長  | 百花草 薫（緑生涯学習センター） | 会計監査 | 八巻 景子（中村小） |
| 副会長 | 川合 恒之（黄金中）       | 参与   | 高橋 肇（名音大）  |
| 庶務  | 藤松 真人（桜山中）       | 同    | 山本みよ子（名音大） |
| 同   | 塚寄 崇史（若葉中）       | 顧問   | 小泉 孝（名音大）  |
| 会計  | 北村亜希子（港南中）       | 同    | 浅田 邦穂（名音大） |

総会・研修会・懇親会 8月28日（日）名古屋音楽大学D101・学園食堂

**総**会では、会則に従い、会長の指名・役員の方命を行いました。昨年度の事業報告、決算報告並びに本年度の事業計画案、予算案が承認されました。

**研**修会は、「大地の響きを求めて」と題して、名古屋音楽大学特任教授の栗原幸江先生とスカル・サクラのみなさんを講師に迎えて行いました。ガムランを演奏していただくとともに、実際に体験をすることもできました。当日は竹製のガムランである「ジュゴク」の演奏でした。複雑に組み合わせるリズムと、柔らかさと芯のある強さを合わせもった竹の響きを体験することができました。最後は特等席の楽器の下で聴くことができ、「大地の響き」を十分に味わうことのできた研修会でした。



**懇**親会は、学園食堂で行い、名古屋

音楽大学より学長の高橋肇先生、音楽学部長の山本みよ子先生、教職担当の柴田篤志先生、教職指導室の小泉孝先生、前教職指導室の浅田邦穂先生にもご参加いただきました。また研修会の講師をしていただいた、栗原幸江先



生とスカル・サクラのみなさんにも加わっていただきました。思い出話はもちろん、今抱えている悩みについて意見や情報を交換したり、参加されたほとんどの方が現在の様子や感想を報告したりするなど、とても有意義な時間を送ることができました。

## 【お知らせ】

会員の皆様から次のような問い合わせが来ています。学生（学部生・院生）の紹介や演奏の依頼は直接名音大教職指導室へお尋ねください。（☎052-411-1664 担当：小泉先生）

- ・合唱部に伴奏者がいないので、伴奏をしてくれる学生を紹介してほしい。
- ・吹奏楽部で管楽器の指導ができる学生を紹介してほしい。
- ・コンクールが録音審査のため、めいおんホールを借りて録音することはできないか。
- ・名音大の和楽器を借りることはできないか。
- ・芸術鑑賞として、名音大のアンサンブルやオーケストラ、声楽を呼びたい。など

《編集後記》 8月の研修会・懇親会は盛況裏に終えることができました。関係の皆様に改めてお礼申し上げます。会報「第2号」は、学長先生に巻頭言を執筆していただきました。身に余るお言葉に、お支えをいただいている心強さと責任を感じています。今後とも会員の皆様のご協力をお願いいたします。（ゆ）

